

堺市障害者自立支援協議会 障害当事者部会 交流会 実施報告

日時： 令和元年10月23日（水）14：00～16：00

場所： フェニーチェ堺 3階 文化交流室

対象： 市内在住の障害当事者

参加人数： 10名（身体障害4名、精神障害3名、知的障害2名、難病1名）

※ 障害当事者部会からの参加人数は10名

合計 20名

（1）「障害当事者部会とは」 （説明：川渕委員）

（2）交流会テーマ

「堺のまちは暮らしやすいですか？～私らしく生きるための課題と希望～」

① 生活していて困っていること

交通機関

- ・駅の設備や対応(エレベーターがない、ホームと電車の隙間、券売機前のスロープやホームの傾き、駅員の対応によって自分が予定している電車に乗れない、乗り換え時、鉄道会社間のアクセスや道がわかりにくい等)
- ・堺は、バス1台に対し車いす1台しか乗れない。バス停に行き既に車いすの人が待っていた場合、車いすをたたみ、通常の席に座らないといけないので、かなりの時間をする。大阪市には、車いすが2台乗れるバスが多くある。
- ・駅員が常駐していない駅があるので困る。
- ・タクシー券を出すと嫌がられる。
- ・大阪市内には行きやすいが、東西の移動手段が少ない。
- ・駐車場の車いす利用者ゾーンにポールが立っている。一旦車外に出てポールをどけるのは負担が大きい。
- ・無人駅は各駅で増えてきている。無人化になると、インターホン対応となり、聴覚障害者の人が困る。
- ・関西のバスは後ろから、関東のバスは前から乗車する。ルールの統一が必要。
- ・駅によっては、点字ブロックがないところがある。
- ・高架駅になってエレベーターが設置され、便利になったが、駅員が減って車いす乗降の連絡が不便になった。

サービス

- ・車いすで、コンビニ等の手動扉（観音扉）が開けられない。
- ・ヘルパー同行でスーパーに行くと、店員が自分ではなく店員へ対応する。

医療機関

- ・診察時、医師が私の顔を見ず、パソコンを見たまま対応される。
- ・障害のある人を見てくれる内科の医師が少ない。
- ・精神科では、何かを訴えるとすぐに薬が増えてしまう。
- ・診療時間が短く、医師に自分の思いが届かない。

地域との関係

- ・近隣に高齢者が多く、災害時に助けてもらおうと思っても難しい。
- ・地域とは挨拶程度の付き合いで、災害時は助け合えるのか心配。

② あつたらいいと思うこと

交通関係

- ・健康福祉プラザの送迎バス
- ・東西の移動が便利になる交通機関

サービス

- ・当事者同士のカップリングを支援する事業所。しかも、結婚、夫婦生活、出産、子育て、老後などの支援もしてくれるような事業所
- ・24時間のコールセンター。障害、高齢、子ども共用の駆け込み寺の役割。
- ・すべてのお店のバリアフリー化、合理的配慮が行き渡って欲しい。
- ・行動障害など対応が困難な人にも対応できる事業所。
- ・災害時や困ったときに相談できる人が欲しい。
- ・てんかん発作があるため、街中に休憩できるベンチやトイレが欲しい。
- ・行政の、補装具など各手続きを郵送で対応できるようにして欲しい。
- ・災害の時、障害に合わせた方法でお知らせが欲しい。
- ・バリアのない公共施設を作ってほしい。

③ 堺市のいいところ

- ・福祉サービス、電車などの交通の便、生涯学習講座などが充実している。
- ・当事者部会があり、長い歴史がある。
- ・堺の文化・歴史がすごい。堺で生まれ育っているので誇らしい。
- ・このような、当事者の交流会の場を設けているところ。しかし、来たい人は沢山いるはずなので、開催の方法はもう少し検討して欲しい。

【アンケート集計結果】

交流会はどうでしたか？

- | | | |
|--------------------|--------------|-----|
| 1、 よかった | ・・・・・・・・・・・・ | 6 名 |
| 2、 どちらかといえば、よかった | ・・・・ | 2 名 |
| 3、 どちらかといえば、よくなかった | ・・・・ | 0 名 |
| 4、 よくなかった | ・・・・・・・・ | 0 名 |

感想・次回話したいテーマ

- ・ヘルパー不足は、生死に関わる事なので改善をお願いしたい。
- ・電車の優先座席や駐車場の優先区画など、「風習」「教育」を浸透させる。
- ・当事者同士で様々な意見を聞いて良かった。
- ・交流会を年に一回だけではなく、毎月開催して欲しい。
- ・年に一回の交流会では、学校や仕事で行けない人もいる、二回は開催して欲しい。
- ・環境について興味があるので環境をテーマにお話したい。

